



岡崎 晋 議員

北部豪雨 本町で起きたら影響は

答 影響受ける家屋の棟数は想定してない



問 11月の北部豪雨は本町でも起こり得るか。その場合、何戸程が家屋浸水し、何戸程が地滑り・土砂崩れの影響を受けるか。また、この北部豪雨以後、本町の防災計画を見直すことはないか。

町長 起こり得る。本町の防災計画では同規模雨量による浸水、地滑り・土砂崩れで影響を受ける家屋等は想定してない。また、北部豪雨に起因する防災計画見直しは予定してない。

問 あの北部豪雨が本町で起きたても家屋浸水や地滑り・土砂崩れなどで影響を受ける家屋の数は想定してないのか。

総務部長 本町の防災計画では千年に一度1100ミリの大雨で1800棟の被害を想定しており、北部豪雨の48時間で555ミリ雨量での被害想定はしてない。



北丘ハイツ背面
断層が真和志高校裏まで断続的に続く

ゼロカーボン表明を

問 県内で海洋・環境汚染を減らすためプラスチックごみの減量・再資源化に取り組む自治体があるのを知っているか。

総務部長 それは確認してないが、那覇市・南風原町環境施設組合ではそれらも焼却す

ることで令和5年度は約5億8千万円の売電収入を生んだ。

問 全国で65・3%1122の自治体が2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボン）を表明している。本町もその予定はないか。

町長 勉強不足で、調査・勉強する時間をいただきたい。

問 環境保全、普及・啓発などを担うエコセンターの小規模講習会等があるが、住民環境課はセンターに任せるだけではなく、ごみ・資源ごみ収集者の生の声を広く伝える等、その取り組みの意義を町民に広く意識して頂けるよう、一緒にもっと幅広く取り組みを強化してもらいたいかどうか。

総務部長 エコセンターは環境保全や持続可能な社会実現に重要なもので、今後も住民環境課職員も連携強化して教育、センターの多岐に亘る機能を連携強化していきたい。